

令和2年度 静岡県の新ビジョン 富国有徳の「美しい“ふじのくに”」の人づくり・富づくり
の評価に係るパブリックコメント意見対応表

1 意見募集期間

令和2年10月14日（水）から令和2年11月5日（木）まで

2 意見提出状況

2人の方から4件の御意見をいただいた。

施策	意見	対応案
1-1(2)	今までに育成したふじのくに防災士の人数はどのくらいか。また、例えば、災害初動時の情報収集体制の強化など、育成したふじのくに防災士を活用すべきである。	評価書1-1(1)【新型コロナウイルス感染症への対応欄（取組状況と今後の方針）】に、「育成したふじのくに防災士など地域の防災人材を活用して、自主防災組織の改善に向けた取組を助言・指導する「地域防災力見える化システム」を構築することとしており、この機能を活用し、喫緊の課題である地域防災力の底上げを図っていく。」旨を追記し、自主防災組織の強化に向け、育成したふじのくに防災士（令和元年度末時点の累計育成数：約3,047人）の活用を図っていく。
3-3(3)(4)	高校生等のメンタルヘルスケアを実施するにあたり、様々な場所における相談支援体制の充実を図ることが重要である。また、ストレス発散のため、研究や演劇等で発表するなどアウトプットできる場の提供が必要である。	評価書3-3(4)及び3-3(3)【新型コロナウイルス感染症への対応欄（取組状況と今後の方針）】に、「不安・ストレス等を抱える児童生徒に対し、「24時間子供SOSダイヤル」やSNSによる相談窓口など様々な手段により相談体制の充実を図る」旨及び「多様な体験活動やスポーツ活動への参加を促進することにより、新型コロナウイルス感染症の状況に留意しながら自己実現できる場を提供していく」旨をそれぞれ追記し、不安やストレスを抱える子供たちに丁寧に対応していく。
4-2(3)	大学でオンライン授業を受けるにあたっては、通信環境やPCの普及等によるオンライン環境の充実など、どの学生も同じ環境で学ぶことができるような環境の整備が必要である。	県内高等教育機関では、オンライン授業導入にあたり、学生へのPC等の貸与や財政支援のほか、学内の通信環境整備を実施するとともに、対面授業との併用を進めている。また、評価書4-2(3)【新型コロナウイルス感染症への対応欄（取組状況と今後の方針）】に記載のとおり、県内高等教育機関等が実施する共同公開講座についてはオンライン、又は対面のいずれかを自由に選択できるよう開催方式の改善を図っていく。
行政経営	施策レビュー参加者の募集にあたり、新規参加者を多方面から増やすことで県民からより現場に則した意見の提案がもらえるのではないかと。	評価書行政経営1(2)【取組状況】に、「“ふじのくに”士民協働施策レビューに無作為抽出された県民評価者等が参画する」旨を追記し、新規参加者を広く募っていることを明示した。今後も、オンライン参加をはじめ、多くの県民の方が参加しやすい開催方法を検討していく。